



野生鳥獣対策について

こんにちは！ぐんま酪農指導部です。10月になり朝晩の寒暖差が大きくなる時期になりました。牛は夏の疲れが残り、消化器疾病や乳房炎、蹄病、繁殖障害が起こりやすい時期です。

今月号では野生鳥獣対策について紹介していこうと思います。農水省の報告によると、令和5年度の野生鳥獣による農作物被害は164億円になります。全体の7割がクマ、シカ、イノシシ、サルによるものです。農場内に侵入し設備や飼料の損害を与え、牛の健康にも大きなリスクをもたらします。また、圃場ではトウモロコシなど作物の食害や、ロールラップサイレージ損傷によるカビの発生など被害は多岐にわたります。今回は群馬県林業試験場で野生鳥獣に対して長く研究していた、坂庭浩之獣医師に詳しく紹介していただこうと思います。



坂庭浩之先生は令和7年3月まで林業試験場で野生鳥獣管理に従事し、現在は榛東村でVAN animal clinicという名前で開業し主に鳥・犬猫の診療をされています。野生鳥獣害対策について質問がある方はメールにてご相談ください。
hrsakaniwa@yahoo.co.jp

野生のツキノワグマの調査中の坂庭獣医師



農畜産業におけるクマのリスクについて

近年、日本各地でクマと人との軋轢が深刻化しています。特に、人里での人身被害や家畜への被害が顕著になっており、その脅威は身近なものとなりつつあります。

・人里での人身被害の増加

2023年度には、全国でクマによる人身被害が過去最多を記録しました。特に秋田県や岩手県といった東北地方で被害が顕著であり、被害の約3~6割が人家周辺で発生しています。冬眠前のエサを求めて人里に降りてくるクマが増加しており、畑や裏山だけでなく、住宅地や市街地でも目撃情報が相次いでいます。積極的に人を襲う行動も近年は見られており、臆病な動物という概念は捨てなければなりません。

・農作物への被害

クマによる被害は、深刻な問題です。ツキノワグマは、飼料用トウモロコシ畑を狙うことがあります。これは、トウモロコシがクマにとって、高エネルギーで消化しやすく、魅力的な食物であるためです。ツキノワグマによるトウモロコシ畑の被害は、単にトウモロコシが食べられるだけではありません。クマは、畑に侵入する際に茎をなぎ倒し、広範囲にわたる被害を引き起こします。これにより、収穫量が大幅に減少するだけでなく、収穫作業そのものが困難になることもあります。

更に、ツキノワグマはデントコーン圃場で採食を行う際、畑の中心部から食べ進めることがよくあります。これは、背の高いトウモロコシに姿を隠せるため、昼間でも畑の真ん中で安心して食害し続けることができるからです。このため、畑の外からはクマの存在に気づきにくく、作業中の人が無自覚に畑に入った際に、突発的な人身事故に発展する懸念があります。被害は、主にトウモロコシの穂が成熟する時期、特に8月から9月にかけて多く発生します。この時期のトウモロコシは、デンプンや糖分が豊富で、クマにとって絶好の餌となります。

・被害を防ぐための対策

農畜産業におけるクマの被害を防ぐためには、農地と畜舎それぞれの場所に応じた対策を組み合わせることが重要です。

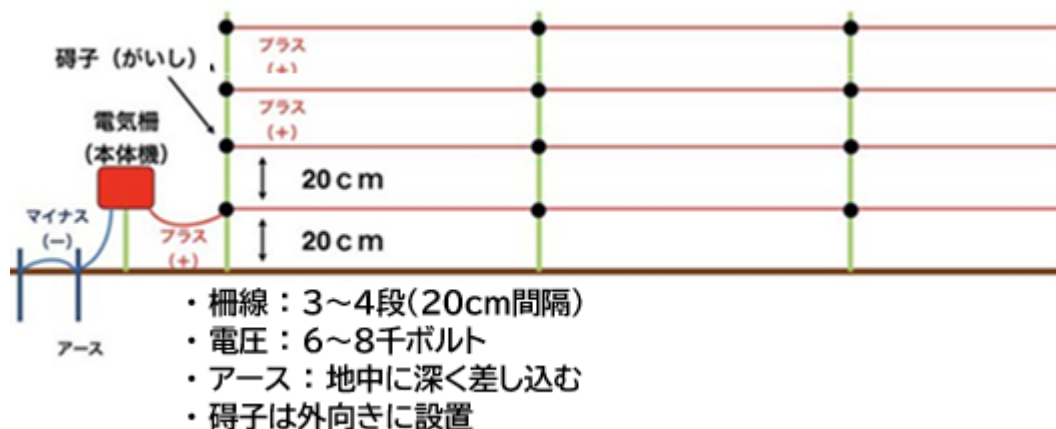
農地における対策として、トウモロコシ畑などへのクマの侵入を防ぐための対策です。電気柵の設置が最も効果的な対策の一つです。畑の周囲に電気柵を設置することで、クマの侵入を防ぎます。クマは鼻でいろいろなものを探知するため、電気柵に触れると強い電気ショックを受けます。この不快で痛い経験を一度すると、クマは電気柵を危険なものとして学習し、畑に近づかなくなります。

畑周辺の環境整備として、畑の周囲にある、クマが隠れやすい下草や藪を刈り払うことも重要です。見通しを良くすることで、クマが警戒しやすくなり、畑に近づきにくくなります。

・畜舎における対策

クマの出没地域では、牛舎内にクマがいる可能性を常に警戒してください。餌箱に入って餌を食べていたり、資材の陰に隠れていたりする危険もありますから、夜間の牛舎の見回りなどでは常に警戒してください。

クマはその個体数増加するとともに、人里近くで繁殖しています。クマが山の中の動物との認識は捨て、身の回りに常にいるかもしれない動物と考えてください。



ようこそぐんま酪農へ Part2

9月上旬に 3 人



目の獣医大学の 5 年生が臨床実習に
ぐんま酪農に来てくれました。

神奈川県から谷田貝さんが産業動物臨床実習のため 5 日間研修していただきました。初日から夜の難産に立ち会うなど大変でしたが、一生懸命実習に取り組んでくれました。頑張っ
て産業動物獣医師になってください。



▶ぐんま酪農のメールアドレスを入力せずに、メールが送れます。申請お願いいたします。

最後まで読んでいただきありがとうございました。これからも様々な情報を発信していこうと思いますので、ご意見やご感想をいただけると嬉しいです。

内容にご興味がある方は、下記に問合せ下さい。

ぐんま酪農業協同組合 指導部

住所:前橋市二之宮 1448

Tel;027-266-7733

Mail;yoshida.r@gunraku-portal.or.jp